

1. 現在およびこれまでどんな仕事をしてきたのか、またその思い

入社後から現在に至るまで、私は経理本部員として、財務領域から会社を支えています。

入社した直後の仕事は、入出金管理や債権保全に携わっていました。債権保全では、カントリーリスクや取引先の信用リスク、為替変動リスク等、様々なリスクを考慮し、お金を確実に回収する方法を検討しておりました。中でも印象に残っている仕事は、入社2年目に担当した「新興国リスクマネジメント」業務。国の情勢が不安定な新興国において、外貨送金規制等の規制が発動すれば、その国にある取引先からの資金回収が難しくなるリスクがあります。このリスクを未然に防ぐため、常にカントリーリスクと向き合い、営業部と共に最適な債権保全策（お金を回収した後にクルマを出荷？保険をつける？）を検討することが、リスクマネジメント業務です。

現在は為替予約をしています。トヨタは車を輸出し、車両代金としてドル・ユーロなどの外貨を受け取っており、外貨を円に交換するタイミングにより、収益が変動します。売上台数が同じでも1円円高になっただけで、トヨタの1年間の営業利益は400億円減ると言われています。ポイントは、収益を安定させるため、為替の見通しを立てて、円高に備えて為替予約をすること。想定外の事象が起きていないか、日々マーケットの動きを把握し、経営層に鮮度の高い情報を発信するのも私の仕事です。

「経営の羅針盤」として会社を支え、長期安定的な成長を目指す。これが私の仕事のミッションです。会社が新規事業へ投資できるのも、安定した収益基盤があっただからこそだと思います。グローバルトヨタだからこそ、財務としての役割は大きく責任あるものだと感じます。

2. 後輩就活生へのアドバイス

面接では、できる限り自分の言葉で伝えることが大切だと思います。体育会の主将、学生団体のリーダー。華やかではありますが、全員がそのような経験をしているわけではないと思います。学生時代に頑張ったことが一見華やかでなかったとしても、何を課題に思っ、自分なりにどのように工夫したのか、小さなことでも自分の言葉で伝えることが大切だと思います。大変難しいことですが、あまり自分を着飾らず、素の自分を出して就活ができると素敵だと思います。

そして、就活生の特権は、多くの会社を見て知れることだと思います。会社に入ると、他社を知れる機会が減ってしまうように感じます。こんな貴重な機会はないので、ぜひ前向きに楽しんで就活してもらえれば良いと思います。